

目ざまし時計

電波クロック

取扱説明書

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。

この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。

この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明なことがありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、セイコークロック（株）お客様相談室にお問い合わせください。

（例：SQ○○○、AC○○○、CQ○○○など）

お客様相談室 0120-315-474

www.seiko-clock.co.jp

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 FSQ-157P

必ずお守りください 安全上のご注意

⚠ 危険 死亡または重傷を負う可能性が高い内容

<アルカリ電池について>

- ショートさせたり、充電、分解、変形、加熱、火への投入などは行わないでください。液漏れや発熱、破裂の原因となります。
- 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注意 けがをしったり家財に損害を与える恐れのある内容

<時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがをしったり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂によるけがの恐れがあり、また、機器の故障の原因となります。

- 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておく、古い電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- 電池は必ず ⊖ 側から入れてください。また、⊕ ⊖ を正しく入れてください。
- 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
- 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- 時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布などでクリーニングしてください。
- 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<分解や改造をしない>

お客様が本製品を分解されると、けがをしったり、故障の原因となる恐れがあります。

<時計と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間中・経過後とも、修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
- お買い上げ店で保証が受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- お客様が分解しますと修理不可能になる場合があります。また保証の対象外となります。
- ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

必ずお読みになってからご使用ください

使用上のご注意

- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤作動することがありますが、故障ではありません。誤作動した場合は、リセットボタンを押してください。リセットボタンを押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。
- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

<温度・湿度表示について>

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
- 温度湿度が次のような状態になったときの表示
・温度：-30℃より低い「Lo」/ +60℃より高い「Hi」
・湿度：20%より低い「Lo」/ 90%より高い「Hi」
ただし、湿度表示は温度が0℃～+60℃以外の状態では「—」と表示されます。

<液晶パネルについて>

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
・表示部のシールをはがしたり、乾いた布などで拭いたとき
・指などで液晶パネルを押したとき

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。
また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
（例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。
- ちり・ほこりの多い所。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
- 寒い所から暖かい所への移動などによる、急激な温度変化を避けてください。（結露に注意してください）
- 本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
・ビルの中、ビルの谷間、地下
・高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く
・テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く
・工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所
・乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
・その他電波ノイズを発生させるものの近く
・スチール机等の金属製の家具の上や近く



お手入れについて

- 枠を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾かしてください。
- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

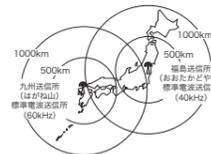
電波クロックについて

■電波時計/電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。



■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間は一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。お客様相談室にお問い合わせください。（ホームページアドレス www.seiko-clock.co.jp）

故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。

なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置方法
表示が出ない または表示が 欠けている	・電池が入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。 ・電池が正しい向きに入っていない。 ・きちんとリセットされていない。	・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 ・リセットボタンを押してください。 ・電池を正しく入れ直して、確実にリセットボタンを押してください。
時刻またはカ レンダーが合 っていない	・受信に成功していない。 ・電池の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・「電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 ・リセットボタンを押してください。 ・電池を正しく入れ直して、確実にリセットボタンを押してください。
アラームが鳴 らない	・アラームスイッチがOFFになっている。 ・電池の容量が少なくなっている。	・アラームスイッチをONにしてください。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 ・リセットボタンを押してください。

製品仕様 改良のため予告なく変更場合があります

時間精度：	平均月差±30秒（気温5℃～35℃で使用した場合） （電波受信による時刻修正を行わない場合） 表示誤差±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
使用温度範囲：	-10℃～+50℃
アラーム：	ただし、表示判読可能温度範囲 0℃～+40℃ 電子音、約5分間オートストップおよび約5分間スヌーズつき（スヌーズは何回でも繰り返すことができます。）
カレンダー：	2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー 月末、うるう年とも修正不要。
温度表示精度：	±2℃（0℃～40℃の間）
湿度表示精度：	±8%（温度25℃で25%RH～85%RHの間）
表示内容：	日付（月/日、曜日）、時刻（AM/PM表示による12時間制または24時間制表示） 周囲温度（℃）・湿度（%） 単3形乾電池 2個
使用電池：	約1年 単3アルカリ乾電池（LR6）を2個使用時
電池寿命：	※1日あたり、バックライトを2回、アラームを10秒間使用した場合
電波受信機能：	自動受信（午前2時から3時間ごと。次回の受信までクオーツの精度で動いています。） 手動受信

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

はじめに

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みのうえ、ご使用ください。
表示部にシールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。
※静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。

付属品

ご使用前に確認してください。

- 取扱説明書（本書）1枚
- 保証書 1枚
- モニター用電池（単3形乾電池）2個
※付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

ご使用方法

① 電池を入れる（単3形乾電池 2個）

本体裏面のふたを開けて、電池を入れてください。

- 注意**
- ・電池の⊕ ⊖の向きを間違えないように注意してください。
 - ・種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

② 「⑦リセットボタン」を先端の細いもので押す

表示がすべてついた後、時刻「午前12:00」となり、標準電波の受信を開始します。

重要 電池の交換後は、必ず「⑦リセットボタン」を押してください。

③ 時計を設置する

本機を使用したい場所に置いてください。

- ※窓際などできるだけ受信しやすい場所でのご使用をお勧めします。
- ・受信中は、**Ⓜ**マーク（または**Ⓜ**マーク）が点滅し、受信マーク  が受信状態に応じて変化します。
 - ・受信に要する時間は最長約16分間です。

【受信成功】

受信マーク  が表示され、[月/日] [曜日] [時:分] [秒] が正しい日付と時刻に修正されます。
・受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

受信に成功した場合



【受信できない】

受信マーク  が表示されず、時刻、日付の修正は行われません。「電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
・使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。

受信できなかった場合



④ アラーム時刻をセットする

(1) 「③進むボタン/戻るボタン」を押す

日付がアラーム時刻に切り替わって点滅し、アラーム時刻合わせの状態になります。



日付 アラーム時刻

(2) 点滅中に「③進むボタン/戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせる

- ・アラーム時刻合わせの状態で「③進むボタン/戻るボタン」を押し続けると早送りします。
- ・約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定します。

(3) 「⑥アラームスイッチ」をONにする

アラームマーク  が表示されます。
・日付がアラームの時刻に切り替わり、アラーム時刻になるとアラームが鳴り、ライトが約5秒点灯します。



⑤ アラームを止める

アラームを止めるには2通りの方法があります。

【アラームを完全に止める】

「⑥アラームスイッチ」をOFFにして止めます。
・アラームマーク  が消え、アラーム時刻が日付表示に切り替わります。

【約5分後に再度アラームを鳴らす（スヌーズ機能）】

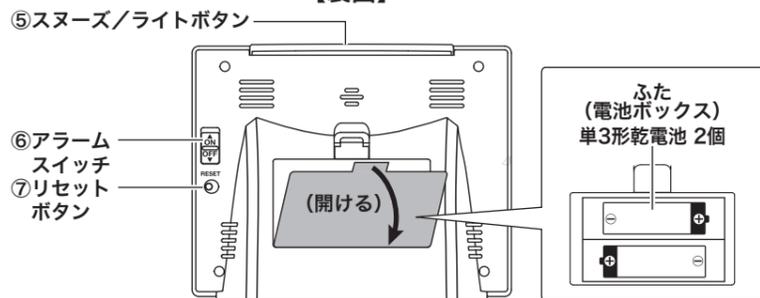
「⑤スヌーズ/ライトボタン」を押すとアラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。
・スヌーズ中はアラームマーク  が点滅します。
・スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。アラームは約5分間で自動的に止まります。（オートストップ機能）この場合、アラームマーク  は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

各部の名称

【正面】



【裏面】



①モニターボタン

・押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。

②受信ボタン

・通常表示のときに押すと、標準電波の受信を開始します。
・受信中に押すと受信を中止します。

③進むボタン/戻るボタン

・アラーム時刻または手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。

④時刻/日付合わせボタン

・手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。（2秒以上押し続けてください。）

⑤スヌーズ/ライトボタン

・アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が動き、約5分後に再びアラームが鳴ります。
・押すとライトが点灯します。

⑥アラームスイッチ

・アラームON/OFFを切り替えます。

⑦リセットボタン

・初期化を行います。
・電池交換後は、先端の細いもので必ず押しつけてください。

便利な機能

自動受信について

午前2時から3時間ごとに、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる

- 「②受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
- ・受信状態については、「ご使用方法」をご覧ください。
 - ・うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。
- ご使用中に受信マーク  が表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
- ・詳しくは裏面「電波クロックについて」をご覧ください。
- また、夜間は昼間に比べて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻、日付を合わせる

- 電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。
- (1) 「④時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。
年表示が点滅します。
 - (2) 「④時刻/日付合わせボタン」を押すごとに、右図のように順に表示が切り替わり、点滅します。
 - (3) 「③進むボタン/戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
 - ・「③進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
 - ・5分間「③進むボタン/戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的に通常表示に戻ります。

(4) 12/24時間制選択が終了したら、「④時刻/日付合わせボタン」を押してください。設定が完了します。



【通常表示】
普段はこの表示でお使いください。



【年合わせ表示】
「④時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押す。
「③進むボタン/戻るボタン」で年を合わせてください。
年は2000年～2099年まで合わせられます。曜日は自動的に合わせます。



【月/日合わせ表示】
「④時刻/日付合わせボタン」を押す。
「③進むボタン/戻るボタン」で日付を合わせてください。
曜日は自動的に合わせます。



【時刻合わせ表示】
「④時刻/日付合わせボタン」を押す。
「③進むボタン/戻るボタン」で時刻を合わせてください。
「③進むボタン/戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は0秒にリセットされます。



【12/24時間制選択表示】

「④時刻/日付合わせボタン」を押す。
「③進むボタン/戻るボタン」で12時間制または24時間制を選んでください。
「④時刻/日付合わせボタン」を押す。
設定が完了し、通常画面に戻ります。

12時間制/24時間制の選択について

時刻の表示方法を切り替えるときは、「電波を受信できなかった場合」の「2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって、12時間制または24時間制表示を選んでください。（受信マーク  が表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マーク  は表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます。）

試し鳴らしについて

「①モニターボタン」を押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。
※スヌーズ中も機能します。

ライトについて

「⑤スヌーズ/ライトボタン」を押すとライトが点灯し、ボタンを放してから約5秒間点灯します。

自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。（誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。）

- (1) 時刻表示に「OFF」が表示されるまで、「②受信ボタン」を、8秒以上押し続けてください。
- (2) 「電波を受信できなかった場合」の「2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
 - ・この機能を設定した後も「②受信ボタン」を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
 - ・この機能を解除するには、時刻表示に「ON」が点滅表示されるまで、「②受信ボタン」を8秒以上押し続けてください。